

令和5年度 第1回立科町総合教育会議録

日 時 令和5年12月19日（火曜日）午後3時～午後4時20分

場 所 立科町役場 大会議室

参集委員 立科町長 両角 正芳
立科町教育長 塩澤 勝巳
教育長職務代理 飯島 正茂
教育委員 池田 広
教育委員 遠山 貴美枝
教育委員 久保井 智恵

事務局 齊藤総務課長 市川財政係長 山口たてしな保育園長、上原児童館係長
伊藤社会教育人權政策係長 山浦学校教育係長

欠席 羽場教育次長

傍聴者 1名

協議事項

- (1) 社会教育の今後について
- (2) その他

山浦係長 ただいまから、令和5年度第1回立科町総合教育会議を始めさせていただきます。それでは始めに、両角町長から挨拶をお願いいたします。

両角町長 皆さん改めましてこんにちは。
今年も余すところ僅かとなり大変お忙しい中、令和5年度第1回立科町総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。
日頃より、町の行政に、とりわけ教育行政にお力添えを賜り、感謝申し上げる次第でございます。
さて、平成27年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴いまして、立科町でも教育大綱が定められたところでございます。
この大綱は、皆さんご存じのとおり町民の意向を教育行政により反映させるため、町長と教育員会とで構成する総合教育会議で協議し、策定することになっているわけでございます。
毎年開催され、その都度それぞれの課題について、ご協議をいただいているところでございます。本日もご意見をいただきながら、ご審議いただき、本日の会議が実りのあるものになりますことを期待申し上げ、開催に当たりましてのご挨拶にかえさせていただきます。
本日は大変ご苦勞様でございます。

山浦係長

両角町長ありがとうございました。

それでは、協議事項に入りたいと思います。本日、齊藤総務課長と市川財政係長にご出席をいただいております。

それでは、両角町長の進行でお願いいたします。

両角町長

それでは、早速、協議事項に移らせていただきます。

(1) 社会教育の今後について、説明をお願いいたします。

塩澤教育長

私の方から説明をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

ご承知のように定例教育委員会では、学校教育について扱うことが多く、令和4年度の総合教育会議でも「立科教育の推進」ということで総合教育会議を開催いたしました。どちらかと言うと、社会教育について取り上げる機会が少ないことから、今回は、社会教育でどのようなことが行われているのか。どんな課題があるのか等についてご協議いただきたいと思います。担当から説明いたしますので、よろしくお願いたします。

伊藤係長

令和5年度の主な事業について説明いたします。まず、生涯学習の公民館関係事業ですが、8月に二十歳の式典事業を行い、38名の出席がありました。各種教室の「すずらん学級」では、ゲートボール大会、ゴルフ大会、eスポーツ体験会、映画鑑賞会、サントミュージゼコンサート、トレッキング、歴史散歩を開催し、「すずらん学級」以外では、社会教育委員さんを講師とした、クリスマスリース作り、星空観察会を開催しました。立科町文化展は、11月3・4・5日で開催し、12グループ、個人合わせて372品の出展がありました。立科町文化祭は、3月3日に開催を予定しています。公民館育成事業では、分館育成補助や地区活動推進交付金の交付を行い、集会所整備事業として、各公民館の整備に係る補助を行っています。文化活動補助では、現在「やらず会」「蓼科クラブ」の2団体へ補助金を交付、女性団体補助では、公民館女性部へ補助金を交付、青少年健全育成では、各地区の子ども会活動へ補助金を交付しています。また、社会教育委員の会の開催も行っています。社会体育関係では、スポーツ推進委員会の定期的な開催、立科町体育協会、蓼科高校運動部への補助金の交付を行っています。体育施設管理では、権現山運動公園の体育館、グラウンド、マレットゴルフ場、キャンプ場、風の子広場等の権現の森公園の管理を行っています。各種大会も開催しており、本年度は、6月に町民ゴルフ大会、8月に少年スポーツ大会・分館対抗球技大会、10月に白樺高原歩け歩け大会を開催しました。今後は、1月に青少年スキー教室、2月にふらば一るバレー大会の開催を予定しています。文化財保護事業では、史跡公園管理、笠取峠の松並木の管理を行い、文化財保護委員会で委員さんの意見を伺い、保護に努めています。姉妹都市交流事業では、姉妹都市委員会の開催、アメリカ合衆国オレゴン市からの親善大使兼ALTの招致を行っており、来年度は、オレゴン市への中学生の派遣事業を行う予定です。本年度の中学生の派遣事業は、感染症の関係で中止となりましたが、新しい親善大使兼ALTは、現在入国手続きを行っており、入国管理局の回答待ちの状況です。青少年育成事業では、神奈川県愛川町の中学生と立科町の中学生による交流事業を8月に実施しました。その他、スポーツ少年団、ボーイスカウト、御泉水太鼓ジュニアチーム、子ども

会安全会への補助金の交付を行っています。人権教育啓発事業では、人権センターの管理、人権を考える町民大会、分館人権学習会、指導者養成講座等を開催しました。また、人権教育推進協議会、保学人権教育推進協議会、人権を推進する企業連絡会を開催しています。男女共同参画推進事業では、委員会のほか、ふれあいサロンを実施しました。

主な事業について説明しましたが、課題として、人口減少により各団体の委員さんのなり手がなく、各委員を兼ねている方が多いように感じています。社会教育は、子どもから高齢者までが該当となり、生涯学習を通じて高齢者の生きがいづくりを醸成していますが、立科町文化展への出展数の減少や生涯学習団体とその構成員の減少が見受けられます。その背景として、定年延長により働く高齢者が増え、趣味等に費やす時間が少なくなっていることも一つの要因ではないかと考えています。団体の活動における指導者の減少も強く感じており、以前は地域に先生と呼ばれる方がおり、その方を中心として団体が構成されていましたが、その方がいらっしゃらなくなった時に次の指導者が出て来ないため、技術の継承が上手く行われていないのではないかと推測しています。町内で中心となって進めてくれる方が減って来ている現状を強く感じています。現時点では、方向性は定まっていませんが、各グループの代表の方のご意見を伺いながら、今後について考えていきたいと思っています。

両角町長 事務局から課題が何点か出ていますが、主な事業と課題についてご意見ありませんでしょうか。

塩澤教育長 担当から説明いたしましたが、今まで社会教育の中では公民館を活用しながらグループで活動されている方が多かったのですが、その方が高齢となり、今までやられていたグループがなくなってしまった。特に文化関係で活躍されていた方がやらなくなってしまい、立科町文化展への出展も少なくなったということがあります。加えて、定年延長や各地域で役職を仰せつかって時間がない方も多くなり、活動に参画してくれる方がいない。これが社会教育全般に波及してしまい、特に減少が激しかったのが公民館女性部で、地区でも維持できないということになっており、数箇所のみしか活動ができていない状況になっています。今後、必要だがどうやっていけば良いのか担当部署も悩んでいるところです。良い方策があれば、ご意見ご提案等いただきたいと思います。

池田委員 立科町では、先生がいないが、近隣と連携することで解決できる部分も少しはあるかも知れない。そのようなやり方も有効なのではと思います。多くの事業を良くやられているなと思いますが、町民運動会の中止を決定されたように、賛否両論はあるが、事業の中には、なくても良いものもあるのではないかと思います。オレゴン市への中学生派遣事業の今後の予定はどうか。

伊藤係長 来年は、実施する方向で検討していますが、姉妹都市提携 50 周年になるので、中学生の派遣とあわせて何らかの交流をしたい。姉妹都市提携 45 周年のときは、オレゴン市から来ていただいてホームステイを行った。そのような形で進めたいと思いますが、詳細は未定です。

両角町長 お互いの大枠のようなものは出来ているのか。姉妹都市提携 50 周年に向けた基本的な計画があれば知りたい。

伊藤係長 今後の姉妹都市委員会ですらどうしていくのか検討しますが、オレゴン市のベス姉妹都市委員長さんと立科町の遠山姉妹都市委員長さんでやりとりを行い、中学生の水彩画をやりとりする文化交流を計画していますが、オレゴン市は、民間の活動を財源としているため、お金の工面で苦慮しているように感じています。

ホームステイについては、例年 8 月に行っていましたが、チケットが高額で入手困難であり、業者の見積もりだと 1 人当たり 40 万から 50 万円、業者からは、来年の 8 月の予約が困難という回答をもらっています。

塩澤教育長 オレゴン市は、ボランティアの皆さんで活動されているのが実態のようで、行政が関わっていない分、こちらの思惑通りにいくか分かりませんが、親善大使を送ってもらっていますので、なんとか実施をしたいと思っています。現在、遠山姉妹都市委員長さんを中心に模索していただいていますので、良い交流ができるようにしっかりと繋がりをとっていきたいと思っています。

両角町長 その他、行事の関係で何かありますか。

飯島職務代理 社会体育の各種大会が中止になったことで各地域の交流がなくなり、大会に参加する選手を集める際も繋がりが無いので、選手が集まらず参加しない方が、負担がなくて良いというような衰退の雰囲気を作っているような気がします。本年度で実施できなかったことを来年度どのように実施に踏み切るかが今後の発展につながると思います。

久保井委員 子どもが少なくなってしまう、子どもに関係する役員を毎年やるようになっていきます。毎年行っていて、役員さんだけが参加しているような行事は見直して、社会に合わせて変えていく必要があると思います。

遠山委員 社会教育は、文化、芸術、スポーツと多岐に渡って事業を開催してくれているが、人口が減る中で参加者が去年より増えるのは無理だと思うし、アフターコロナになり地区の参加者やニーズを模索している段階だと思うので、様子を見ながら一緒にできるものは一緒にし、伝統的に続いているものは大事にしながら、徐々に見直していくことが必要だと思います。

両角町長 子どもに関係することで何か課題はありますか。

池田委員 中学校の部活動やスポーツ少年団は、子どもが少なく今後活動ができるのか。今のまま進んでもどうなのか。

先日の研修会で、小中一貫をテーマにした発表がありましたが、立科町もそこが大きな問題点になっているような気がします。検討委員会を立ち上げて実際に物事が進むには 10 年位かかる感じなので、どこかのタイミングでスタートして進めていけば良いと思うので、是非、前向きにお願いしたいと思います。

遠山委員 小学校の校舎の耐久性はどうか。

塩澤教育長 耐震補強をしてあるので、安全面で問題はないですが、校舎の問題は、小中一貫とは切っても切り離せない問題です。前々回の総合教育会議で、今後の児童生徒数の推移をお示しし、委員さんにも近い将来検討していかねばいけないということで、議題に挙げさせていただいています。町会議員さんからも一般質問で小中一貫はどうなるかという質問をいただいています。この問題は、校舎の問題も考えないといけないし、子どもたちや保護者が本当に望んでいるのか、敷地の確保、お金の問題等、色々な面が絡んできますので、慎重にやらざるを得ないが、近い将来真剣に考えなければいけないと思います。

今、町長が様々な子育て支援策を打ち出しているのですが、その効果を見ながら、考えていく必要もあると思っています。

両角町長 クリアしなければいけないハードルがたくさんありますので、定例教育委員会等で色々なご意見を出していただければと思います。

その他にありますか。

塩澤教育長 今、eスポーツやボッチャ等、ニュースポーツに力を入れています。ボッチャの道具を貸して欲しいという方も増えて来ていますが、皆さんに浸透していくには、時間が必要なので、皆さんに興味をもってもらい、楽しんでもらえるよう、工夫をしながらやっていければと思っています。

両角町長 その他によろしいでしょうか。それでは、(1)の社会教育の今後については、これで終了とさせていただきます。

次に(2)その他について何かありますか。

その他はないようですので、協議事項は以上とさせていただきます。事務局にお返しします。

山浦係長 両角町長進行ありがとうございます。また、齊藤総務課長、市川財政係長、出席ありがとうございます。

教育委員の皆様には、この前に開催しました定例教育委員会を含め、長時間に渡って大変貴重なご意見等いただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第1回立科町総合教育会議を閉じさせていただきます。お疲れ様でした。